

ミグリトールは糖尿病透析患者の体重増加を抑制できるのか

長崎腎病院

○江藤りか 中島さゆり 小嶺真耶 矢野未来 池田康平 吉野秀章
林田征俊 原田孝司 船越哲

【目的】

α GI のミグリトールは吸収型薬剤であり、小腸上部の K 細胞からの GIP 分泌抑制作用が認められている。今回、糖尿病を有する透析患者において、 α GI のボグリボースからミグリトールへ切り替えたのちの、体重・体重増加率・脂質への影響を調査する。

【方法】

維持透析中の患者 18 名（男性 10 名、女性 8 名）、平均年齢 7.5 歳、平均透析歴 6.2 年の患者で、ボグリボースをミグリトールに変更し、薬剤前後の体重の変化、中 1 日の体重増加率、TG の変化を調査した。

【結果】

平均体重は変更前 56.56 kg から変更後 8 週で 56.3 kg と有意差は見られなかったが、減少傾向であった。体重の平均増加率は変更前が 3.39%、変更後 8 週で 2.97% と有意に減少し ($P=0.03$) 中 1 日での増加目標 3% を達成した。TG は大きな変化はなかった。

【考察】

吸収型薬剤のミグリトールは、GIP 抑制作用により、透析患者の中 1 日の体重増加率を減らす可能性が示唆された。